

グループホーム安居

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			1 ~ 5 (自己 1~24・外部 1~14)	自己評価24項目・外部評価14項目	13	
理念に基づく運営	1	理念の共有(自己 1~3・外部 1~2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	1 理念の共有	1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域とのかかわりを持ちながら暮らしていけるよう事業所独自の理念をつくりあげている。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、申し送り時に理念を唱和し、意識付けを行い日々実践に取り組んでいる。絶えず振り返りながら大切にしていくながら必要性を感じている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時や運営推進会議において説明を行っている。また御家族とのモニタリングやケアカンファレンス等を通してお伝えするよう努めている。	0	
	2	地域との支え合い(自己 4~6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3		
2 地域との 支え合い	4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	住宅地でないため近隣とのつきあいは出来ないが、近隣の地域の方より野菜や果物を頂いたり、菜園の手伝いをさせていただくなどして交流している。	1	近隣の公園を散歩したり、買い物や食事など外出の機会を増やしていきたい。	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会へ参加したり、保育園児との交流やボランティアによる詩吟などを行っており定期的な交流ができるよう努めている。古賀市の中学校の生徒さんと総合学習の時間を通して、年に2度程交流の機会を持っている。	1	地域主催の行事で気軽に参加できるようなもの（お花見、お祭り）を検討していきたい。ご家族の協力を得ながら個別に応じていけるよう努めたい。保育園児との交流、中高生の体験学習等今以上に行っていきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 え合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域活動の一環として、認知症の介護予防教室を年4回行う予定。	1	意見交換の場を設け、取り組みが鹿部区を含む古賀市の方を、対象としたものに増えていくよう努めたい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	4	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年外部評価を受審し改善を行っている。日々を振り返る機会となり、職員の意識向上に繋がっている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、御家族、地域の方、行政の参加を頂き、日頃の活動状況を報告、説明している。意見や要望を伺いながらサービスの向上に努めている。	1	職員の参加できる機会を検討していただきたい。推進会議の必要性を感じ取れるのではないかと。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	古賀市でグループホームネットワークを立ち上げ、市との連携を図り、定期的な研修会等開催している。	1	今後もネットワークを通して、研修会等参加し、サービスの質の向上に取り組んでいきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	毎月全体カンファで職員が担当し勉強会を行い、制度の理解を深めている。年間を通して行うよう計画して取り組んでいる。また福岡県グループホーム協議会に加入しており、ブロック研修会に参加し人権について学びその後資料を元に職員全体へ伝達講習をしている。	1	今後もいろいろな研修会に積極的に参加し、学ぶ機会を多く持ちたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてカンファレンス等職員間で学んでおり、入居者の安心安全のため防止に努めている。また研修会にも積極的に参加し、その後職員間で周知徹底している。	1	今後もいろいろな研修会に積極的に参加し、学ぶ機会を多く持ちたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	3	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が十分な説明を行い、不安や、疑問点などにはその都度対応し、理解や信頼を頂いている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より馴染みの関係を築き、いつでも意見や不満を話していただけるよう対応している。日頃の言動も参考にしている。又運営推進会議にて発言の機会を設けている。ホーム内には意見箱の設置も行っている。	0	
		14 外部評価8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、モニタリング、カンファレンス時に日頃の様子をお伝えし定期的に個々に合わせ行っている。また連絡ノートに記入しご家族との連携を図っている。全体的なものとして安居便りを発行し報告している。	1	毎月定期的にお便りを発行し、御家族との連携を図れるよう取り組み、担当者からのコメントも入れたい。
		15 外部評価9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議において意見を頂いている。意見の反映に努め、職員間で話し合い提案取組んでいる。当事業所、行政機関への苦情受付連絡先をホーム内に掲示している。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミニカンファレンス、毎月の全体カンファレンスで提案、話し合いをする機会を設け反映している。	1	職員の意見が反映できるよう継続していきたい。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者様の状況変化に応じ勤務調整をして対応している。又職員間で連携をとりながら柔軟な対応に努めている。必要時は職員数配置も行っている。	1	必要時は柔軟に対応でき入居者個々にサービスが提供できるよう取り組みたい。入居者様の支援の状況にあわせ職員配置を希望する。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員による支援が受けられるように異動はない状況である。退職者に代わる場合は期間など考慮し入居者へのダメージを防いでいる。管理者、職員間で定着できるような配慮を行い努めている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価 6 項目・外部評価 4 項目	3	
	5 人材の育成と支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	幅広い年齢層での採用がなされている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権に関する外部研修に参加し、職場に持ち帰り伝達講習や文書の回覧等をおし機会ある毎に学んでいる。随時管理者より指導もなされ日頃より人権を尊重し支援をしている。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での研修に参加の機会を得、事業所内では年間とおして学習計画が立てられ全職員が学べる機会を確保している。また、入職時には、新入オリエンテーションの中で新人教育を行っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県のグループホーム協議会での研修会に参加しスキルアップが図れている。古賀市グループホームネットワーク合同研修では「認知症ケア」の講義を受け、入浴拒否のケアについてグループ討議・ロールプレイで対応の仕方を学ぶ。日々の振り返りもできサービスの向上に取り組んでいる。相互訪問の予定もある。	1	相互訪問で意見交換も計画予定されており参加する。ネットワークでの研修も年間予定が立てられており、職員個々が参加学べる機会が得られるよう配慮していきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	食事会、レクレーション職員間の親睦を深める機会がある。日常の業務において心配や悩みなどを話せる雰囲気環境である。職員間でもお互いに配慮しあっている。	1	定期的に管理者と職員との面談を取り入れ、個々の意見や思いを感じとりストレスの軽減を図り、意欲や質の向上につなげていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自の研修や専門試験では勤務調整の対応がなされる為、意欲・向上心を持って働けている。	1	一部の職員でなく全体での向上心とつなげていけるよう引き続きの対応や体勢作りを維持継続していきたい。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	4	
安心と信頼に向けた関係作りと支援		1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人の思い不安や要望等を傾聴し把握に努め職員間で共有しながら信頼関係を築いている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居に至るまで管理者が十分な対応を行っており信頼関係が築けている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者が十分な状況把握を行い必要なサービス・支援を見極めて対応できている。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	日中見学や体験をして頂き職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染めるよう対応している。	0	
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	4	
	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で、生活の知恵を学び本人の持っている力を引き出しながら、作品作りの時間を共に過ごすなど思いに触れながら、支えあう関係づくりに努めている。	1	一人ひとりの持っている力を引き出す工夫を考えて関わっていくよう努めたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会や外出・外泊等ご家族の協力を得ながら一緒に支えていく関係を築いている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	日頃の様子等詳細にお伝えしながら、御家族と情報交換を行い、相談しながら対応を行っている。面会が困難である方は、御家族と連携をとり面会が支援できている。	1	ご家族の訪問の機会が増えるような行事などを検討していきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの場所へ外出できるよう努めている。	1	個別に気軽に外出できる機会を増やしていきたい。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人ひとりのの状況把握を行い、トラブルにならないよう配慮し入居者様同士の関わり、支えあえるよう努めている。	1	作業や活動をとおしての馴染みの関係作りや買い物や食事など外出の機会を作り、支え合える関係づくりに努めていきたい。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	母体病院へ入院の場合は、お見舞いや御家族の相談など対応をしている。他病院へ入院の場合もお見舞いに行き、御家族と連携を保っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	8	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中で意向を把握し、職員間で情報の共有に努めながら支援している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の話や頂いた情報より把握に努め馴染みの生活が送れるよう支援している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルサイン測定時の体調把握や関わり時随時状態を把握している。職員間で情報交換を行い連携を保ち状態観察している。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	モニタリング時ご本人の希望やご家族の希望を聞き話し合い、それぞれの意見を反映し計画作成している。	1	毎日のケアチェックを行うことで意識づけができよりよく暮らすためのケアができるよう努めている。
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度の見直し、又必要時は追加プランの変更などを行っている。御家族様の参加もいただいている。	1	担当者・作成者と参加できるよう調整を行っている。
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状況やケアプランに沿った記録に努め情報共有し実践している。	1	処遇記録研修で学んだものを伝達講習を行う。統一したケアの実践へ反映させていく
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 した多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体病院との連携を図りながら柔軟に対応できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	5	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	歌や詩吟のボランティアや地域の保育園との交流会を定期的に行っている。消防訓練をしたり、古賀北中学校の職場体験学習を受け入れ地域資源との協力を行っている。昨年の12月からは、民生委員のご協力を頂き、より広範囲の活動が行えるようになった。	1	保育園を訪問する機会をつくりたい。
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	支援はしていない。	0	ネットワーク交流会での地域の情報等を得ながら他のサービス利用を検討していく。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加をさせていただいており、必要に応じて相談等している。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院でのかかりつけ医による受診ができ、又ご本人やご家族の希望で専門医を個々に受診できるよう支援している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	母体病院に専門医があり、相談し必要時受診できている。また専門医より研修を開いてもらい、学習する機会を作っている。	1	今後も認知症について、職員間で学び合い入居者様の支援に役立てたい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師であり、入居者様の健康状態を報告し管理をしている。母体病院での相談・受診が随時できるようになっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先の医療関係者との情報交換を行い、又御家族様への連絡・相談を行い連携をとっている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御家族様よりお尋ねやご相談の折は、身体状況に応じての対応ができる体制であることをお伝えしている。	1	入居者の身体状況に応じて、御家族や主治医と情報交換しながら、方針を決定し職員間で周知徹底していく。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居者がよりよく暮らせるために、母体病院との連携を図りながら検討している。急変時にも対応できるようになっている。	1	急変時の早めの見極めができ十分な対応が取れるよう緊急時マニュアル等で周知しており、今後も継続していく。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報交換や話し合いを行い、安心して生活できるよう努めている。御家族との連絡を密に取り協力を得ながら対応できている。	1	入居時の情報収集を行い御家族との連携が密に保てるよう努めていく。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	15	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	14	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	2		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳の保持に努め、個々に配慮し言葉かけ対応をしている。また、定期的に接遇研修に参加し日々の業務に生かしている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の思いを表し、自己決定できるような関わりを持てるよう支援している。	1	個々に応じた関わりを大切に支援していきたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自分らしく暮らしていけるよう、一人ひとりのペースを大切にしながら支援している。	1	職員間での情報の共有・連携を図り支援していきたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人やご家族の希望を聞きながら出張美容サービスを利用していただいている。ご家族と馴染みの美容室を利用されている入居者様もいる。	1	御本人が望む店に継続して、行けるよう御家族と連携を取っていきたい。
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食時のつぎ分けを一緒にしながら食事が楽しみになるよう行っている。一人ひとりの力が引き出せるよう手伝いをいただいている。	1	月2回位のペースで食事・おやつ作りを取り入れながら、個々の力が引き出せるような支援に取り組むよう検討していきたい。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物や果物、おやつ等好みのものを提供している。また買い物時には、お好きな物を購入し、おやつにしている。	1	個別での食事やお茶を楽しめる機会を増やしていきたい。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し、排泄の失敗や排泄用品の使用頻度の軽減に努め支援している。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴日を設け、午前・午後に分かれているが、毎日ご希望の方は毎日提供している。男性職員を希望されない方には、女性職員が対応し、入浴を楽しめるよう支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室で自由に過ごされたり、昼食後短時間の休息を促している。安心して就寝できるような個々に関わり支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	4	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の得意とされるものを引き出しながら、楽しみや張り合いが感じれるよう支援している。	1	楽しみや喜びが感じれるよう個々に支援をしていく。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金より必要時引き出して、使用することができる。買い物に出かけたときはご自分で支払いをしていただいている。	1	少ない額でもいいので買い物は、所持金よりご本人の望む物を選び購入できるようゆっくりと買い物や外出を提供し支援したい。
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日中は中庭や付近の散歩ができ、買い物・ドライブなど出かけられようになっている。現在は、感染症（インフルエンザ）のため、外出を自粛している。	1	近隣の公園へ出かける機会を作り自然に触れ気分の転換が図れるよう取り組んでいけたら
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望の所へ出かけ外食を楽しんだり、ご家族と希望の所へ外出ができています。個々の希望はあるものの感染症（インフルエンザ）のため、現在は外出を自粛している。	1	定期的な外出などが継続できるよう御家族との連携を図っていく。近隣の公園など気軽な外出ができるようにしていきたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも自由に電話をしていただいている。手紙のやりとりについては、ご家族との連絡のもと支援をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問しやすい雰囲気づくりをし、居心地のよく過ごせるよう配慮をしている。面会人も多い。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを学び、ケアに取り組んでいる。またカンファレンスにて身体拘束についての研修会も開き、学びの場を作っている。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	認知機能の低下が著明に見られる方の安全管理を考え、玄関は開錠しているが、勝手口と門扉は施錠しており、完全には取り組めていない。	1	センサーや鈴などで対応を試み、見守りが行える職員配置を検討していきたい。他グループホームでの鍵をかけないケアに取り組んでいる状況などを参考にして取り組んでいく。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に状況把握し安全に生活ができるよう支援している。リビングへお誘いして一緒に過ごす時間をつくりながら配慮をしている。夜間時は頻回に見守り安全防止に努めている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご本人で保管したり入居者様の状況に応じ、お預かりしている。必要時は施錠し危険防止に取り組んでいる。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	医療安全委員会や消防訓練等で知識や技術をを深め、全体カンファでシミュレーションを行っている。また服薬に関しては、職員間での声出し確認をし誤薬防止に取り組んでいる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアルを把握し対応を行っている。また全体カンファレンスで、緊急時対応の研修を定期的に行っている。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	母体病院との連携が図れている。独自の夜間想定した避難訓練を行い、マニュアルも作成している。	1	全員が避難訓練に参加し、実際に体験できるように働きかけたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	常に状況説明をし、起こり得るリスクについてもその都度話している。職員間でも対応策の話し合いをしている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	3	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルサインチェックをし状態観察、食事・水分摂取量の把握をし、変化があれば管理者への報告、職員間の申し送りを行っている。体調変化を見のがさないよう気をつけている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服一覧表にて目的や副作用の症状など確認をしている。変更や追加時は伝達の周知徹底をおこなっている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表で排便状況を把握し、水分補給や食事面でも配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、個々の状態に応じ口腔ケアを行っている。義歯使用者は、週一度義歯洗浄剤で洗浄、清潔保持できるよう支援している。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体病院の管理栄養士が献立を立て、バランスの取れた食事が提供できている。毎日の食事・水分量も記録して把握できている。必要時は栄養補助食品もあわせて使用している。	1	今後も高齢者の脱水に注意しながら、状態の観察を継続していく。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルに沿った対応をしている。手洗い・うがいの徹底、また毎日ホーム内をハイター（次亜塩素酸）にて消毒を朝・夕行っている。	1	今後も手洗い・うがい・消毒を継続し、感染防止に努める。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮で安全な食材を使用し、生ものでの提供はせず、火を通して提供している。冷蔵庫の温度管理、調理器具の煮沸消毒、乾燥機使用で衛生面の管理にも努めている。	1	継続して台所の衛生面の管理に気をつけ定期的な清掃に取り組む。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	金魚の水槽や植物を置き家庭的な雰囲気になっている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	間接照明を使い優しい光、昔風の家具を置き生活感をだしている。季節の花を飾り、音楽を流し心地よく過ごせるよう配慮している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングソファにて、入居者がくつろぎの時間が持てるよう配慮し支援している。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や寝具持ち込まれ、居心地よく過ごせるよう、ご家族の協力を頂きながら支援している。	1	自宅より持参された小物や飾りなど、ご本人の状況に合わせてながら、心地よい場所づくりを継続支援していく。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日4回朝・毎食後に天窓を開け、換気を行っている。個々の状況に合わせて室内の温度管理、エアコン使用、温度調節を個別に行っている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要なところへの手摺の設置、広い空間で車椅子、歩行器使用ができるよう配慮している。	1	個々の状況や変化に応じた家具の配置など対応し、安全が保てるよう継続支援していく。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりに合わせた誘導や、言動の観察より適切な対応をしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に花壇を作り、花を眺めたり入居者様で散歩を楽しんだりできている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	1	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。